

| | |
|--|---|
| A 3 4 上 級 (実習あり) | 実践！ 拒絶理由通知対応（電気・機械） ～拒絶理由通知の書き方から学ぶ中間処理～ 拒絶理由通知書、補正書・意見書 発明原稿のまとめ方、説明の仕方 |
| 講師 | 弁理士 関 和郎（特許業務法人第一国際特許事務所 所長、元 特許庁 審査四部長） |
| 日程・場所 | 東京会場 |
| | 1 回目：10 月 8 日（金）、2 回目：10 月 15 日（金）、3 回目：10 月 29 日（金） |
| 時間 | 全 3 回（各回共 13:30～16:30） |
| アクセス | https://www.jpds.co.jp/company/access.html |
| 定員 | 16 名（先着順申し込み） |
| 受講料 | 30,000 円（税込 33,000 円） |
| 対象 | 知的財産部門の実務者 |
| 内 容 | |
| <p>特許庁の審査官の立場で拒絶理由通知書を書く、審査官の考え方が理解でき、よりの確な中間処理対応ができると思いませんか？本セミナーは、現在、特許の新規出願、中間処理対応をしている特許担当者のための講座です。電気・機械分野の簡単な事例を用いて、実際に拒絶理由通知書、補正書、意見書を作成した後、グループディスカッション、講師からの講評を通じて、中間処理対応を究めることができます。講師は、元特許庁審査官ですので、審査官の立場で、発明や引例の捉え方から意見書の書き方までのノウハウを皆様にお伝えします。</p> | |
| プログラム | |
| 1 回目 | 【2 回目のつづき】 |
| 1. 拒絶理由通知書（進歩性違反）の書き方のポイント <ul style="list-style-type: none"> ・ 特許庁審査官の審査のやり方、考え方 ・ 拒絶理由通知書の事例 2. 拒絶理由通知書の書き方演習 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事例（出願案件、引例等）の説明 ◎宿題： 拒絶理由通知書（次回提出） | 3. 補正書・意見書の書き方演習 <ul style="list-style-type: none"> ・ 演習内容の説明 ◎宿題： 補正書・意見書（次回提出） |
| 2 回目 | 3 回目 |
| 1. 拒絶理由通知書の書き方演習 <ul style="list-style-type: none"> ・ グループディスカッション 2. 拒絶理由通知書の書き方演習 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各グループの発表と講評 ・ 実例の解説 | 1. 意見書・補正書の書き方演習 <ul style="list-style-type: none"> ・ グループディスカッション 2. 意見書・補正書の書き方演習 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各グループの発表と講評 ・ 審査官からみた書き方のポイント まとめ |

【お申込み】

当社ホームページよりお申し込みください。 URL: <https://www.jpds.co.jp/seminar/application.html>

【備考】

- ・ 本講座は、中間処理対応の経験者もしくは「企業における拒絶理由通知対応」講座をすでに受講された方にお勧めいたします。
- ・ セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

【日本弁理士会継続研修について】

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。